

2019

11

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

# はじめよう！



## CONTENTS

事業所の行事より	P 2～P 3
敬老会／ハロウィンコンサート	
チャレンジドクラブレクレーション	P 3
現場で働くスタッフの声	P 4
かがやきクラブだより	P 4
7月～9月 活動実績	P 5
移動サービス運転者講習会開催案内	P 5
7月～9月 会の動き	P 6
ふるさと納税始めています	P 6
ゆめくれよん+授業風景	P 7
グループ事業所案内	P 8
ICT サポートセンターより	P 8



みんなで育てたよ！(まちの子ども保育園)



**市民生活支援センター  
ふくしの家**

すでに認知症介護は介護の標準とされ、最低でも認知症介護というのがケアの現場の常識になりつつあります。今流行の「ユマニチュード」というアプローチを実践する事業所も増えてきました。見つめ、触れ、ほめる、認める、手をつないで歩く、笑う、これだけ。あなたのことが好きです、と接するだけで行動障害が改善される。下手なレクをやるよりは日頃のケアにひと手間かけることで、利用者の生きがいにも楽しみにもなるという、いま全国的に広がっているケアの手法です。

専門職がユマニチュードを学び取り組んでいるケースや、元々のその人の持つている資質で、不思議と素で取り組めている人がいます。佐賀県地域共生ステーション連絡会（80団体）の代表を務め、佐賀県福祉課と同行し様々な施設を見させてもらう機会に恵まれています。「ユマニチュードといわれるが、前からそうした接し方はやっています」という宅老所もあります。元々人肌感覚のあるケアをしたいと立ち上げた宅老所の経営者が多く、何を今さらという人がいるのも事実のようです。

先日テレビで、久留米市にある聖マリアの集中治療室の取組みが放映されました。認知症患者が増えたことで治療のための身体拘束を余儀なくされている現状を改善しようと、集中治療室の看護師全員がユマニチュードを学び実践したという取組み。たった1年で治療のための身体拘束率を1／3に減らしています。ケアの人員を増員したのではなく集中治療室の看護師自らが適切な接し方を学び実践し効果を上げたというものでした。まさにプロという印象です。

身体を支えるだけのケアに尊厳が入り、その後15年、ようやく中間地点に差し掛かり、介護の現場では今、アセッサー・キャリア段位制度、ケアの標準化、根拠のあるケア手法、ユマニチュードなどの新たな専門が注目を集めています。本会でもアセッサー講習に今年度から3名が参加しています。医療の世界でもアドバスケアプランニング（医療や介護について予め本人に意思決定を求める）の発想が広がりつつあり、単に延命ではなく生活の質や死の質など「長さ」より「豊かさ」ということなのでしょう。介護や医療は大きな節目に差し掛かっています。

先日、就活会場に説明会のブースを構え、訪れた社会福祉士と介護福祉士を持つ育休中の20代の女性は、本会の条件と今の働いている大規模施設との条件を比べながら「いま働いている施設は給料はそちらより安いですが学べるので。そちらはキャリア段位制度はありますか？」という言葉。いよいよ来たか！という印象でした。介護が選ばれない時代にこうした若い人が育つてることに頼もしく感じました。従来の発想からぬけきれずに時代に取り残されないようにしないといけません。

代表 江口 陽介



例年より暑さが続き 秋はどこへやらと  
感じられますが、秋を探しに小城町の江里  
山の棚田まで彼岸花を見に行きました。  
真っ赤に咲いた彼岸花に皆さん喜ばれ  
て、ここはすっかり秋の色です。楽しいレク  
レーションになりました。（管理者 副島）



度重なる台風により犠牲となった方々にお悔やみ申し上げるとともに、  
被害を受けられたすべての皆様に心からお見舞い申し上げます。  
復旧作業が長期化し、依然として深刻な状況が続くなか、皆様の  
安全な生活と一日も早い被災地の復旧をお祈り申し上げます。



### まちのホーム循誘

まちのホーム循誘とケアホームふくしの家合同の敬老会。スタッフ手作りの写真や、それぞれの利用者さまに必要なちょっとしたものをプレゼントして喜んでいただきました。これからだんだんと寒くなってきますので…体調管理を万全に、楽しく過ごしてくださいね！

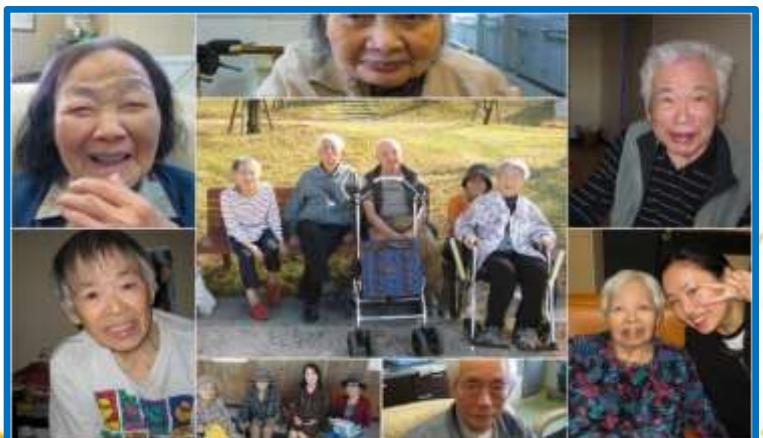
**チャレンジドクラブサマーレクレーション**



今年のサマーレクレーションは8月10日に春日北公民館で、大人7名、子ども10名の参加者とスタッフ8名で実施しました。今年のイベントは内容を変更し、昨年まで外部の方に依頼していた演奏会等から、親子で制作する「手形アート」を行いました。手形アートでは、お母さんは子どもの手や足に絵の具を塗って画用紙に手形をつけたり、その周りに飾りをつけたりと、親子で四苦八苦しながら笑いの絶えない共同作業で芸術的な大作をつくれました。例年より参加者は少なかつたのですが、お母さん方からは“手形アートは楽しかった、ゆっくり話せた”など、高い評価をしていただきました。

(管理者 川崎)

久しぶりのお出かけは諸富町の昇開橋へ。まちのホーム医大前日常のいい笑顔、いつまでも長生きで！



がんに罹患した利用者に接して

まちのホーム循誘 中島 恵子

私が以前、居宅介護事業所にいた頃メラノーマ（悪性黒色腫）の利用者がいた。40歳台女性であつたが末期であり介護保険の特定疾病該当第二号被保険者であった。子供がひとりいるが離婚し前夫が養育している。本人は再婚し夫と二人暮らしである。下肢の筋力が徐々に低下し、家の中に福祉用具（手すり）をレンタルしていた。倦怠感も強く寝て過ごす時間も長くなつてきていた。



しかし彼女は病気の事を伏せコンビニで働いていた。一度しやがみこむと自力で立ち上がりない。そのため棚おろし等の仕事はできずレジの仕事をしていた。その事を職場の人達には話しておらず、覚られないようにするには大変な苦労があつただろう。

彼女は高額な医療費のために働かなくてはならなかつたのだ。末期がんは介護保険の特定疾病ではあるが、疾患ではないので助成がない。

自分の子は前夫が養育していたが面会もし、電話も掛けていた。高校を卒業し進学しようという年齢であった。これらの子どもの成長を見て行く事ができず、まだ40歳台で余命を宣告された彼女の思いは計り知る事ができない。

私は医療色の強い職場で働いていたため若くしてがんに罹患した人や脊椎損傷し絶望の淵にいる人をたくさん見ってきた。40歳台で子宮頸がんの末期の利用者が亡くなられるまでの過程も見た。現在、日本では二人に一人ががんに罹患し三人に一人ががんで死亡している。がんの早期発見、自己検診は重要である。専門職として、若くしてがんを患い余命宣告された人、死を受容できないでいる人、死にゆく人に寄り添つて行きたいと思う。



子ども達のなんとも可愛い姿。

1~2歳の子どももあるある

「棚によくはいる」

50×40の荷物置き場ですけど~

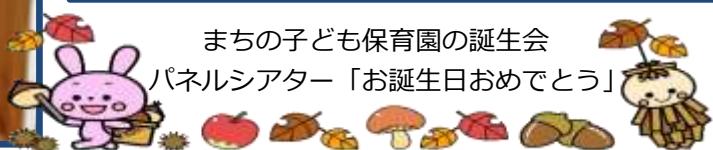


まちの子ども保育園



まちの子ども保育園の誕生会

パネルシアター「お誕生日おめでとう」



# 会の実績

## 訪問介護

	まちの移動ケアサービス			ふくしの家			
	7月	8月	9月				
	介護輸送	1083	817	846			
身体・生活	208	125	143	実利用人数	4	4	5
			延回数	26	23	25	

## 小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	7月	8月	9月	7月	8月	9月
開所日数	31	31	30	31	31	30
実利用人数	24	24	26	29	29	29

## 住宅型有料老人ホーム

	ケアホームふくしの家			サンコートなべしま			ふくしの家				
	7月	8月	9月				7月	8月	9月		
開所日数	31	31	30	開所日数	31	31	30	開所日数	31	31	30
実利用人数	22	22	22	実利用人数	8	8	8	実利用人数	5	5	5

## 特別支援学校放課後児童クラブ（佐賀市委託事業）

	チャレンジドクラブ			かがやきクラブ			
	7月	8月	9月	7月	8月	9月	
開所日数	25	19	22	開所日数	25	21	22
実利用人数	70	43	64	実利用人数	234	162	195

## ふくしの家活動 実績 7月～9月

## グループホーム(共同生活援助)

	サンコートなべしま			ふくしの家			
	7月	8月	9月				
開所日数	31	31	30	開所日数	31	31	30
実利用人数	5	5	5	実利用人数	5	5	5

## 脳いきいき健康塾（佐賀市委託事業）

	春日教室		
	7月	8月	9月
開所日数	5	2	4
実利用人数	16	5	11

## 障がい者ICTサポートセンター（佐賀県委託事業）

	ゆめくれよん+		
	7月	8月	9月
ボランティア派遣	15	21	19
パソコン教室	16	9	7
ボランティア養成	0	0	0
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	0
ふくしの家パソコン事業	26	28	25

## ささえあい（循誘地区）

	ふくしの家		
	7月	8月	9月
買い物	0	1	0
その他	0	0	3

## 子育て支援事業

	まちの子ども保育園		
	7月	8月	9月
開所日数	26	26	23
通常保育	201	159	162
一時保育	44	37	46
休日保育	6	2	5



## サロン（カフェハーモニー鍋島と協働） サロン（紺屋町と協働）

	ハーモニー鍋島			来ん家			
	7月	8月	9月				
開所日数	5	3	4	開所日数	4	4	4
実利用人数	76	41	64	実利用人数	31	32	34

## ■第2回地域共生ステーション資質アップ研修 報告

8月22日(木)にアバンセで開催された研修「権利擁護と成年後見制度～誰もが地域で自分らしく生活するために～(講師:一般社団法人ぱるむ 代表理事 伊東良輔氏)」には30名の方が受講されました。一人暮らし世帯、単身の認知症の人の増加により、尊厳を支援する成年後見の役割は、今後益々大切になっていきます。まだまだ関心の高まりは広がっているとはいえませんが、必ず必要な支援になっていきますので、皆さんでこれからも深めていきましょう。

## ■DVD 住民主体の移動・外出支援って何？

DVD「～地域にあるクルマと人でつくる支え合いのしくみ～住民主体の移動・外出支援って何？」がNPO法人全国移動サービスネットワークから好評発売中です。住民による登録や許可を要しない運送の実践が収録されています。





## 会の動き

- 1日 江北町第1層協議体アドバイザー派遣／江北町  
 3日 みやき町移動支援講師派遣／こすもす館 まちの移動ケア会議  
 4日 認知症サポーター養成講座講師派遣／佐銀研修所  
 5日 佐賀県地域共生ステーションアドバイザー事業／唐津・玄海2件  
 鍋島まちづくり協議会会合／カフェハーモニー鍋島 8日 まちのホーム医大前運営会議  
 9日 佐賀県地域共生ステーションアドバイザー事業／鹿島市2件  
 13日 基山町地域づくり座談会講師派遣 16日 第13回さが現場の声と想いをつなぐ懇談会出席／県庁  
 17日 実地指導（まちのホーム循誘）  
 18日 佐賀県地域共生ステーションアドバイザー事業／福富町  
 休眠預金選定委員会出席 市民福祉団体全国協議会より来訪  
 19日 佐賀県生活支援コーディネーター連絡会企画会議  
 23日 佐賀県地域共生ステーション連絡会中部ブロック会議 循誘さえあい会議 医大前運営推進会議  
 24日 サンコート鍋島立入検査 25日 第2回佐賀県地域福祉計画推進委員会／県庁  
 26日 第1回カフェハーモニー鍋島地域づくり勉強会 循誘運営会議 30日 第1回佐賀市協議体



- 5日 働き方改革セミナー／グランデはがくれ 佐賀県長寿社会課訪問 9日 江北町協議体  
 19日 移動サービスシルバー人材センター講習／唐津  
 20日 移動サービスシルバー人災センター講習／唐津 まちのホーム医大前鍋島中学校職場体験学習  
 21日 佐賀県地域共生ステーションアドバイザー事業／嬉野市 2件  
 22日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会  
 佐賀県地域共生ステーション連絡会資質アップ研修  
 23日 月次報告 25日 大町町地域づくり講話／宮浦地区公民館  
 31日 移動サービス認定運転者講習



- 1日 移動サービス認定運転者講習 2日 居場所づくり講話／千代田町  
 3日 第1回佐賀県居住支援協議会／県庁  
 佐賀県地域共生ステーションアドバイザー事業／多久市・唐津市  
 4日 住民による移動サービスあり方研修講師派遣／新上五島町  
 5日 日建学院 移動サービス認定運転者講習 カフェハーモニー鍋島委員会  
 8日～11日 さわやかいきがいサミット 大阪  
 13日 佐賀県生活支援コーディネーター連絡会 15日 居場所づくり講話講師派遣／大宰府市  
 18日 佐賀県地域共生ステーション連絡会西部地区担い手養成打合せ／嬉野市  
 19日 子育て世代の就活フェスタ参加 認知症介護指導者研修講師派遣／伊万里市  
 20日 ハローワーク福祉の仕事個別説明会 認知症介護指導者研修講師派遣／伊万里市  
 24日 循誘さえあい会議（運営推進会議） 25日 月次報告 佐地共連中部ブロック会議  
 26日 地域との協働による買物支援推進事業選考検証委員会・福岡市社協 まちのホーム循誘運営会議  
 27日 佐賀県地域共生ステーションアドバイザー事業／伊万里2件



あなたの意志をふるさとに ふるさとチョイス  
<https://www.furusato-tax.jp>

TOP → 地域でチョイス → 佐賀県の自治体 → NPO支援 → ふくしの家  
 こちらでの応援も受け付けております。よろしくお願い致します。



## ゆめくれよん+ 教室での授業風景

8/1~2

ワード教室（ステップアップ）



8/3

視覚教室（PC トーカー）



8/27

Excel 教室（基礎）



9/14・28 10/12

インターネット・iPad 教室



ゆめくれよん+では 11 月 11~12 日にフォト画像編集教室を開催します。原則障害者手帳をお持ちの方で教室に来られる方が対象です。お気軽にお問合せください。

まちのホーム医大前  
10月のカレンダーは  
赤とんぼへ♪



### 脳いきいき健康塾

川上さくら会の堤さん  
佐賀新聞に掲載されました！



なごみ会に看護学校の生徒さん4名が研修で参加され、皆さん楽しそうでした。



### 木づかいはエコ活動

「炭素の貯蔵庫」「日本の森林を守る」「海外の森林を守る」  
3つの視点で伝えます。

#### ③木材は「海外の森林を守る」



日本の木材利用量のうち、7 割以上は外国産の木材です。一度に大量の木材が安定的に入手できるので、製紙、製材、合板、住宅、家具メーカー等、木材を大量に使う会社にとっては効率がよいのです。その結果、昭和 30 年頃には、ほぼ 100% であった木材の自給率が、現在は 3 割以下になってしまいました。

ところが、実際に輸入される木材は、どんな場所から、どのように伐採したのかがわからない場合が少なくありません。商業目的で違法に伐採された木材の可能性も指摘されており、日本と木材貿易の上で関係の深いインドネシアでは、森林伐採の違法性の割合が 50% を超えているという報告もあります。結果として、東南アジアや南米等で森林破壊が進み熱帯林等の減少が目立っています。

これらを改善するために、輸入材は、適切な森林から合法的に伐採されたことが証明されたもの (=トレサビリティーが明らかな木材) を使うことが重要です。そして、国産材と輸入材で相補うようにすれば、海外の森林を守ることになるのです。



特定非営利活動法人  
**活木活木(いきいき)森ネットワーク**

Even if I knew that tomorrow the world would go to pieces, I would still plant my apple tree.

「たとえ明日、世界が滅亡しようとも今日私はリンゴの木を植える。」

幸せは何気ない日常の中にあり、見返りや成果だけでなく、将来の希望を育てる行為そのものこそ素晴らしい喜びに満ちていると解釈することもできます。 ルター(ドイツの宗教改革者)



- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】  
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-37-5102
- まちのホーム循誘【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】  
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-28-4286
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】  
佐賀市大財6丁目4-66号／電話0952-22-3744
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンター「ゆめくれよん+」【佐賀市委託事業】  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー北側／電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局  
佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局／さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局  
脳いきいき健康塾【佐賀市介護予防・日常生活支援総合事業】  
いきいき住まいサポート【住宅確保要配慮者居住支援法人指定事業】  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジドクラブ」／電話090-9566-6768【佐賀市委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」／電話090-7475-8989【佐賀市委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】／総合福祉ビルハーモニー窓口  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー4F／電話0952-36-6113
- サンコートなべしま【住宅型有料老人ホーム】  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー5F／電話0952-36-6113
- まちの居場所来ん家  
佐賀市紺屋町1番14号／電話0952-36-6865
- カフェハーモニー鍋島  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー1F／電話0952-36-6885



## ICTボランティア養成講座のご案内

11月14日(木)15日(金) 9:30~16:30 ゆめくれよん+

11月22日(金)25日(月)26日(火) 10:00~15:00 鳥栖市役所 2F

養成講座は障害への理解や対応の座学や、障害に応じたICT活用の具体例などを学びます。全行程受講後「ボランティア登録」をし、活動可能なエリアで無理なく楽しく活動して頂きます。障害のある方のためのICT教室の講師や、講師のお手伝い、障害のある方のご自宅へ直接お伺いして、パソコンサポート等の活動など。

**障がいのある方のパソコンサポートしてみませんか！ お気軽にお問合せください！**



佐賀県障害者ICTサポートセンター「ゆめくれよん+」 ☎ 0952-36-6977

はじめよう！11月号

【編集／印刷】 認定特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島3丁目3-20 鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F



TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895

E-mail [fukusinoie@world.ocn.ne.jp](mailto:fukusinoie@world.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

皆さん、アクセスしてくださいね！